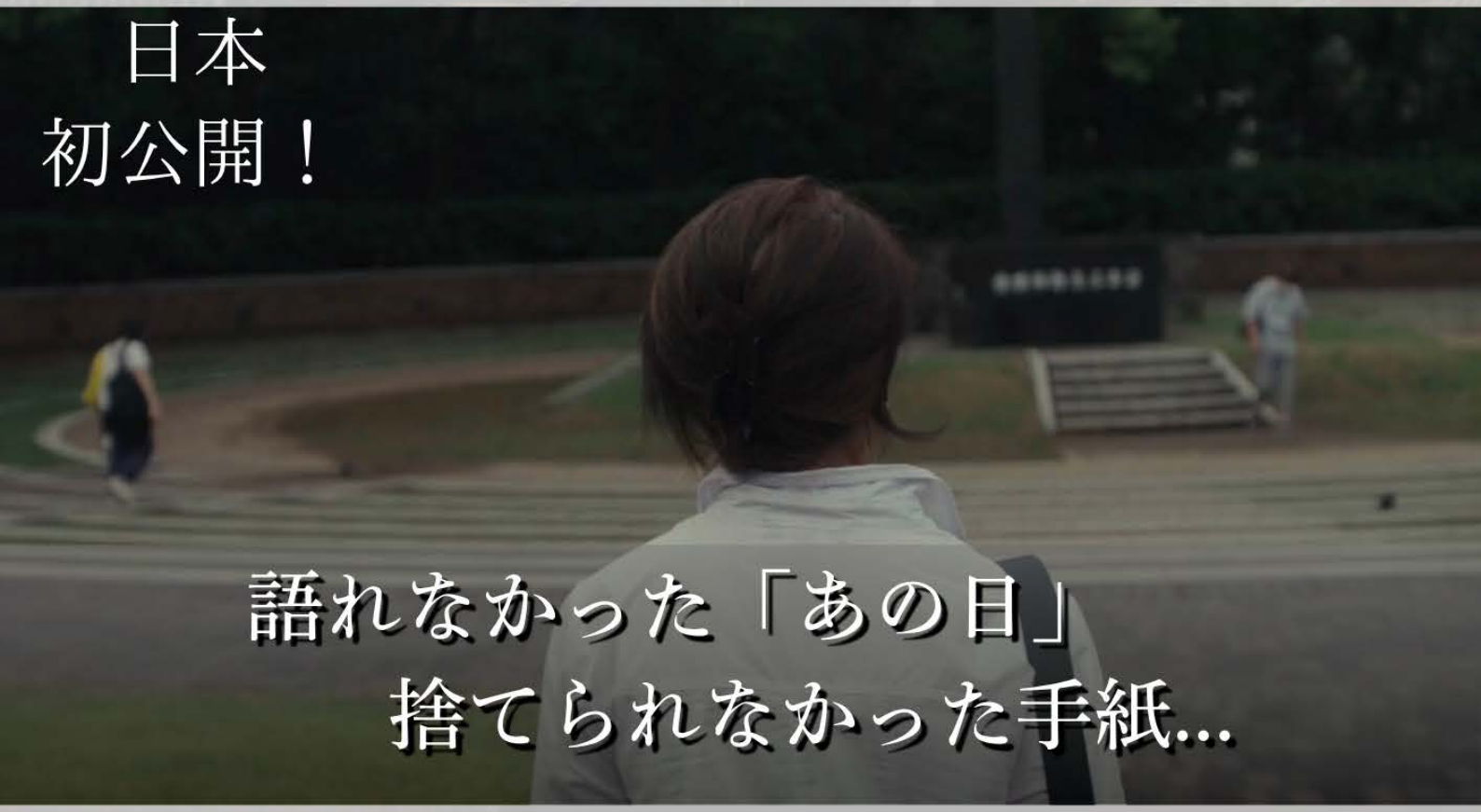
ドキュメンタリー映画　上映会

OKURIMONO
おくりもの

監督：ラハンス・レベック(2024 カナダ)



2026年 7/26 (日)

①9:30開場 10:00上映 ②13:30開場 14:00上映

場所:長崎原爆資料館ホール

入場料:一般前売り1,200円(当日1,500円)
大学生1,000円　高校生以下500円　未就学児無料

チケット販売:浦上キリシタン資料館
長崎市平和町１１-１９ TEL&FAX 095-807-5646
urakamicm@mxa.cncm.ne.jp

チケットぴあ
Pコード：556358

主催:「おくりもの」長崎上映実行委員会

後援:(公財)長崎平和推進協会

Prix HOT DOCS 2024 Earl A.Glick Cinéaste émergente canadienne

Grand prix SiberiaDOC 2024

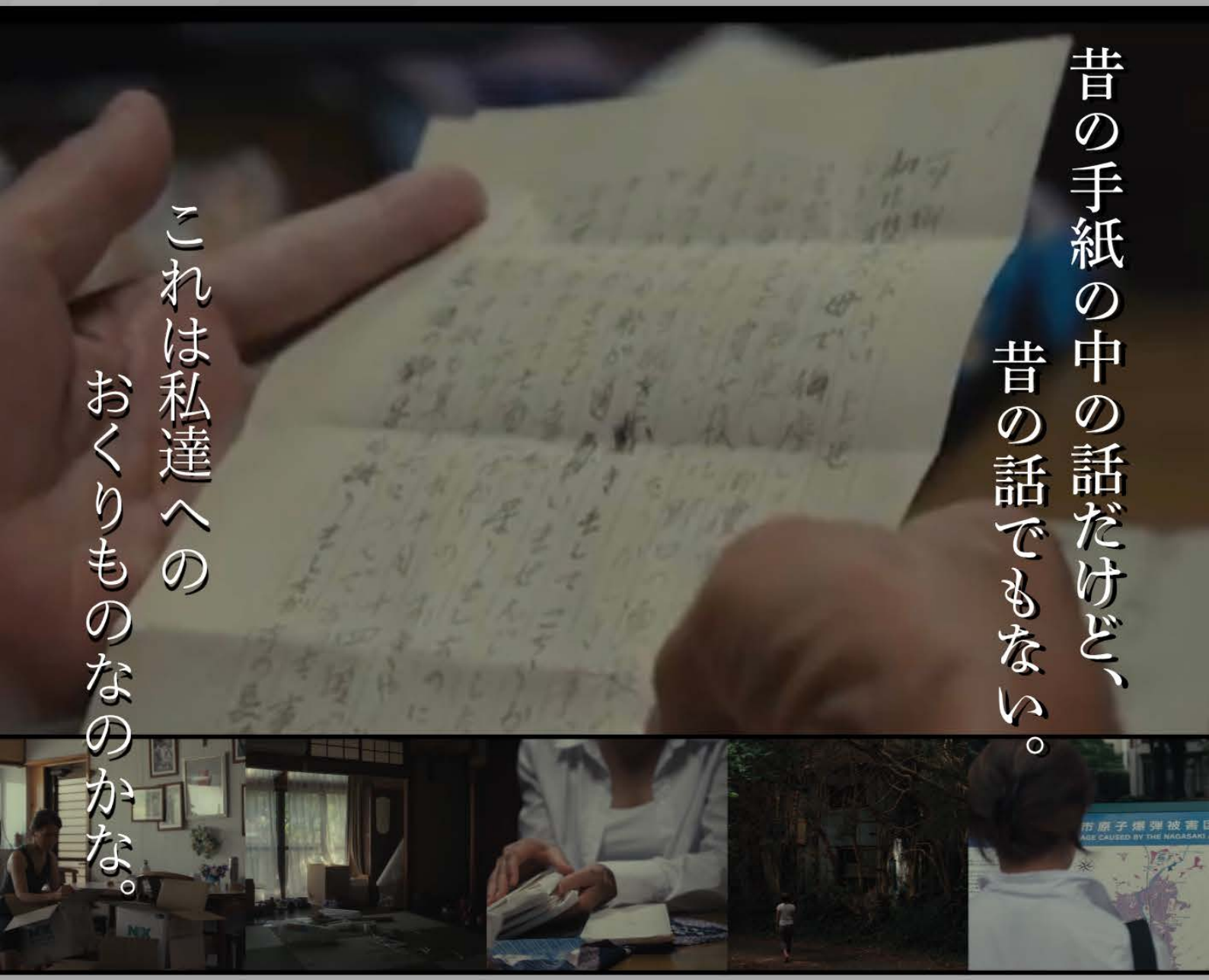
Prix Lucien Kimitété FIFIG 2025

5 nominations Canadian Screen Awards 2025

3 nominations au gala Québec Cinéma 2025

Prix RÉALS 2025 meilleure œuvre documentaire

Hot Doc 新人監督賞、 シベリア国際ドキュメンタリー映画祭 最優秀賞、その他受賞、ノミネート多数



63歳で他界するまで、被爆体験を母の口から聞くことはなかった。
父亡き後に実家を手放す際、母が大切にしていた小さな化粧箱の中に手紙の束を見つけた。
母が歩んだ人生と秘められた想いを知るために、当時を語る被爆者の元を訪れる。

被爆体験を語らない選択をした母と、原爆によって我が子を失った手紙の送り主。
二人の想いを辿るドキュメンタリー映画。





監督：ラハンス・レベック

ケベック大学（UQAM）映画科卒業。2019年発表の短編ドキュメンタリー *Port d´attache*（「母港」）は、Visions du Réelドキュメンタリー映画祭（スイス）に選出、RIDMにて最優秀短編ドキュメンタリー賞受賞、Gala Québec Cinémaでノミネートされる。
2022年、修士論文「著述と事実が物語るもの」が、prix Philippe-Ménard 優秀論文賞受賞。
最初の長編ドキュメンタリー映画「おくりもの」（2024）は、Hot Doc 新人監督賞、 シベリア国際ドキュメンタリー映画祭 最優秀賞、FIFIG Lucien Limitété賞、ケベック監督協会アワード ドキュメンタリー部門最優秀賞 、カナダ映像アワード ドキュメンタリー音響部門最優秀賞受賞ほか、各部門にてノミネート多数。
その他、短長編のドキュメンタリー映画及びフィクション映画、カナダテレフィルムへの制作に参与多数。

お問い合わせ　NPO 法人アジェンダ NOVA ながさき
林田愼一郎　090-7923-7435　linden@ae.wakwak.com